

ネット健康被害から子どもを守るために 啓発したいと考えている 養護教諭・教員・医療関係者向け

こんな方におススメ

- 最近、ネットやゲームに依存している子が学校で増えていると感じている方
- 子どもたちのネット・ゲーム利用の仕方を危惧している方
- 子どもに啓発するための最新の教材(パワーポイントや資料)を手に入れたいと思っている方



ネット・スマホの長時間接触による脳・視聴神経の発達阻害、心と体の健康被害、ネット依存から子どもたちを守るためには症状と発症要因の科学的根拠に基づいた理解が必要です。ネット・ゲーム依存に苦しむ子たち、ネット健康被害の兆候のある子ども達を救うために学んでみませんか？

日時

第2回 6月29日(土) 9:30~16:40

第3回 10月5日(土) 9:30~16:40

場所

さいたま共済会館 6月⇒5階 504号室

10月⇒6階 602号室

(さいたま市浦和区岸町7-5-14 TEL048-822-3330)

JR浦和駅より徒歩8分

定員

1回40名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

受講料等

- ①受講料 2500円⇒当日受付
- ②提供教材 CD 6000円(パワーポイントシート・著作権相当料含む)
- ③資料冊子代 1500円(PPシート一覽等、400枚シート)
- ②と③ 小計7500円 養成協議会に振込(申込者に振込先連絡)
- 合計 1万円 になります

詳細・参加申し込みは裏面

主催 ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会「研修会」実行委員会

実行委員会団体 養成協議会開発委員会 NPO 法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会

子どものネットリスク教育研究会関東支部 子どもとメディア関東

後援: **日本学校保健会** 関東圏各学校保健会(依頼・依頼予定中) 関東圏各県養護教員会(依頼・依頼予定中)

プログラム



9:30	開会 研修の目的 著作権について
9:55	モデル授業1 (80分) ネット長時間利用による脳・睡眠・眼・運動器の発達阻害
11:25	モデル授業2 (65分) ネット依存とその予防、健康被害の対策
12:30	昼食
13:30	モデル授業1の解説 (85分) ネット長時間利用による発達阻害の講話
15:05	モデル授業2の解説 (75分) ネット依存の補足知識と発達阻害を防ぐ学校での取り組み
16:20	閉会 連絡
16:40	終了予定

モデル授業では啓発の際に実際に行う授業を体験していただきます。午後の講習ではモデル授業を行うための必要な知識・情報を学びます。



ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会

略称：THInet。2017.12 に設立。日本医師会常任理事・道永麻里博士、日本小児科医会常任理事・内海裕美博士、脳科学者東北大・川島隆太教授、国立病院機構久里浜医療センター・樋口進院長ら 13 名の呼びかけで発足。子どものスマホ・ネット利用の早期化・長時間利用による健康被害問題について啓発できるインストラクターの養成や、啓発者の育成を目的している非営利型の民間団体連絡協議会です。詳細はホームページをご覧ください。.....
<https://www.net-kenkou-youseikyo.com/>

講師

下記講師が3～5人で対応予定
THInet 教材開発委員会メンバー

- 大谷良光 (委員長 弘前大学教育学部 元教授)
- 成田弘子 (副委員長 白梅学園大学 前特任教授)
- 本間史祥 (副委員長 青森県公立中学校教諭)
- 矢野さと子 (副委員長 子どもとメディア関東事務局長)
- 伊藤賢一 (副委員長 群馬大学社会情報学部教授)
- 原口剛 (開発委員・子どものネットリスク教育研究会主幹研究員)
- ウッド一美 (開発委員・子どものネットリスク教育研究会 関東支部・副支部長)

参加申し込み・お問い合わせ

「日程が平日であれば参加したい」という方がおられましたら、下記までご連絡ください。希望者が一定数に達しましたら、追加計画を連絡させていただきます。

- (1) 申し込み期限 各研修日の1週間前
- (2) 担当 実行委員長 成田弘子 (THInet 事務局長)
- (3) 申込方法 以下のメールアドレスに①氏名、②所属団体または勤務・学校先、③希望日
④連絡用メールアドレス、⑤性別、⑥年齢 (グループ分けの参考)、⑦緊急時連絡先

youseikyo@gmail.com